

共創会議での議論に向けた検討の視点 (地域共通の課題を踏まえた議論のたたき台) ①

資料5

1. 地域共通の「将来像」の具体化に向けて～嶺南地域の強みを活かし・伸ばす

- ・原子力をはじめとするエネルギー関連産業・ものづくり、一次産業、地域観光資源等の「嶺南地域の資源・強み」を核としながら、
- ・「関連する新たな柱」や「外部の活力」を開拓し・呼び込み、
- ・これらを組み合わせて、「イノベーションの循環」が生まれていく地域へ。

(例) ー水素・再エネ等の脱炭素関連技術や、廃炉産業等の技術シーズの呼び込み
ー域外の企業・サポーター、ワーケーション需要等の人的リソースの取り込み
ーこれらを活用した地元の中堅・若者への刺激、「チャレンジの場」の創設
(新規の産業創出・起業、域外への事業展開への支援)

- ・少子高齢化をチャンスに変え、ICT・スマート化等を取組み、暮らし・子育て・教育・防災の「先進地域」へ。

(例) ー遠隔医療・交通・教育等の先進事例を全国に先駆けて活用する「モデル地域」
ー地域大での協働的な取組による導入促進・コストの低減

共創会議での議論に向けた検討の視点

(地域共通の課題を踏まえた議論のたたき台) ②

2. 将来像実現への「工程表」策定に向けて～政策・事業を合目的的に統合する

- 各自治体の判断・責任において策定・実行される各振興計画と、関係府省庁・事業者の取組の「マッチング・目線合わせ」を継続して行う枠組みを設ける。

- 各市町が単独では達成することが難しい課題にも取り組んでいけるよう、「政策ツール・リソースの制約の克服」を重視した支援・事業展開を進める。

(例) – 「共通フォーマット」の構築・協働による地域大での連携 (嶺南大のVPP等)

- 各地域資源の「連携」による相乗効果の実現
(嶺南大での動線を意識した観光・ワーケーション、一次産業の拡販等)
- 企業・若者・需要など「プレイヤー」の地域外からの呼び込みに関する協働

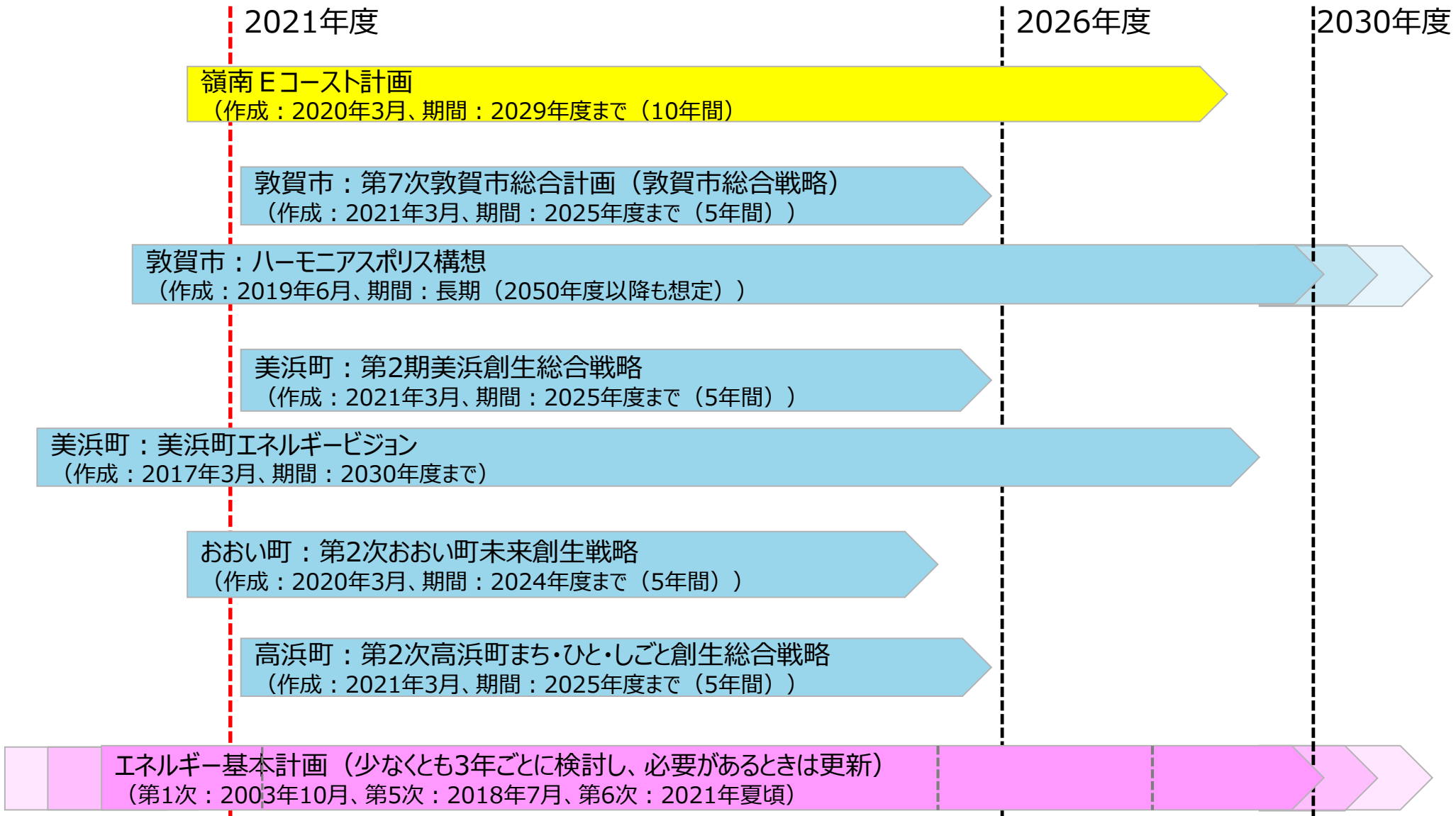
- 「嶺南発のイノベーション・先進モデル開発」を連携して重点的に支援する。

(例) – 各府省庁における「先駆的な社会システム実装」に向けた支援ツールの適用

- 政策支援・事業者PJ展開の判断基準における「イノベーション要素」の重点化

共創会議での議論に向けた検討の視点 (地域共通の課題を踏まえた議論のたたき台) ③

【参考】自治体の各計画と国の政策検討枠組み等の時間軸



	福井県 嶺南Eコースト計画	
基本理念	嶺南地域を中心に、原子力をはじめ再エネを含む様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指すことにより、人・企業・技術・資金(投資)が集まるエリアの形成を図る	
施策	<p>基本戦略Ⅰ 原子力関連研究の推進および人材の育成</p> <p>プロジェクト1 国内外の研究者等が集まる研究・人材育成拠点の形成</p> <p>(1)グローバルな原子力人材育成の推進</p> <p>(2)我が国における原子力研究や人材育成の中核的拠点として、「もんじゅ」サイトに新たな試験研究炉を整備</p> <p>(3)県内大学における原子力研究・人材育成の強化 ひとづくり</p> <p>(4)原子力ライブラリの整備</p> <p>(5)廃炉への対応を含め、原子力の安全を支える県内原子力関連企業の人材確保・育成を支援</p> <p>(6)安全・安心の確保に向け、高経年化対策や、小型モジュール炉を含む原子力関連技術のイノベーションに資する研究を推進</p> <p>プロジェクト2 新たな試験研究炉を活用したイノベーションの創出、利活用の促進</p> <p>(1)「もんじゅ」サイトに新たな試験研究炉を整備 しごとづくり</p> <p>(2)県内外の企業が参画する、新たな試験研究炉に係る利用推進協議会を設立</p> <p>(3)既存の県外の試験研究炉を活用して研究開発を行う県内企業を支援</p> <p>(4)新たな試験研究炉の利活用を進める県内外の大学等のネットワークを形成 ひとづくり</p> <p>(5)新たな試験研究炉の設計から運転開始までの各段階で学生等の人材育成への活用を検討</p> <p>(6)新たな試験研究炉の運営に関する、大学や企業のコンソーシアム設置を検討</p> <p>(7)研究開発型企業や大学・研究機関等を誘致</p> <p>基本戦略Ⅱ デコミッションングビジネスの育成</p> <p>プロジェクト1 廃止措置工事等への地元企業の参入促進、製品・技術の供給拡大</p> <p>(1)県内企業による元請や一次下請業務の受注拡大に向けて、企業連合体の結成を支援</p> <p>(2)原子力関連業務従事者に対する技術研修を充実</p> <p>(3)廃止措置関連技術の高度化に繋がる研究開発を促進</p> <p>(4)研究開発した製品・技術について、他分野での活用も含めた県内外への販路開拓を支援 しごとづくり</p> <p>(5)県内企業への工事情報の提供</p> <p>プロジェクト2 解体廃棄物の再利用を進めてビジネス化を推進</p> <p>(1)クリアランス制度の社会への定着に向けた理解促進活動を推進</p> <p>(2)県内の原子力発電所から発生する解体廃棄物の再利用 しごとづくり</p> <p>(3)クリアランスレベル以下の廃棄物を再利用する企業の県内進出への支援</p> <p>基本戦略Ⅲ 様々なエネルギーを活用した地域振興</p> <p>プロジェクト1 嶺南の市町と連携し、スマートエネルギーエリア形成を推進</p> <p>(1)自治体と電力事業者、県内企業が一体となってスマートエリアの整備を促進 まちづくり</p> <p>(2)EV等の蓄電池を活用して電力需給を調整するVPPシステムの実証実験を実施</p> <p>(3)再エネ由来の水素ステーションや、水素を燃料とするドローン等の研究開発・実証実験を実施</p> <p>(4)地域の実情に応じた再生可能エネルギーの導入を促進</p> <p>プロジェクト2 原子力や再生可能エネルギーを幅広く学ぶ機会を提供し、人の交流を促進</p> <p>(1)国の「次世代エネルギーパーク」の認定に向けた周遊ルートづくり まちづくり</p> <p>(2)観光施設とエネルギー関連施設を組み合わせPR</p> <p>(3)小中学生・高校生への原子力・エネルギー教育を推進 ひとづくり</p> <p>(4)一般県民を対象に、エネルギーをテーマとした普及啓発活動を実施</p> <p>基本戦略Ⅳ 多様な地域産業の育成</p> <p>プロジェクト1 技術の高度化、地元企業等への技術移転による次世代の農林水産業を実現</p> <p>(1)ヒートポンプを活用した植物工場や大規模園芸施設の整備を促進</p> <p>(2)農業のスマート化や高付加価値品目の生産に向けた研究を推進</p> <p>(3)県立大学において水産関係の新学科を開設 しごとづくり</p> <p>(4)ICTにより省電力化した陸上養殖技術を開発(閉鎖循環式陸上養殖 施設を整備)</p> <p>(5)水産養殖の成長産業化に向けて、産学官連携によるIoT、AI等の先端技術導入や人工種苗技術を研究</p> <p>プロジェクト2 地元企業支援や企業誘致により、多様な産業を育成</p> <p>(1)若狭湾エネルギー研究センターの研究開発、産業支援機能を強化 しごとづくり</p> <p>(2)県内企業への原子力・エネルギー関連技術の移転を促進、経営等の支援を充実</p> <p>(3)多様な企業誘致の展開</p>	